

平成26年度 第100回

全国図書館大会 東京大会

大会テーマ：図書館文化を明日の^{あした}力に

2014年10月31日(金)～11月1日(土)



開催会場：明治大学 駿河台キャンパス

【最寄駅からのアクセス】

- JR 中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線／御茶ノ水駅
下車徒歩3分
- 東京メトロ千代田線／新御茶ノ水駅
下車徒歩5分
- 都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線／神保町駅
下車徒歩5分

主催 (公社)日本図書館協会

共催 国立国会図書館、全国公共図書館協議会(予定)、(公社)全国学校図書館協議会、専門図書館協議会、図書館友の会全国連絡会、関東地区公共図書館協議会(予定)、埼玉県図書館協会、千葉県公共図書館協会、東京都図書館協会(予定)、神奈川県図書館協会

後援(予定) 文部科学省、東京都教育委員会、明治大学、千代田区、国公私立大学図書館協力委員会、国立大学図書館協会、私立大学図書館協会、日本図書館情報学会、日本図書館研究会、(公財)読書推進運動協議会、(一社)日本出版インフラセンター、NPO 法人大活字普及協会、(公財)文字・活字文化推進機構、(一社)日本出版取次協会、(一社)日本雑誌協会、(一社)日本新聞協会、日本児童図書出版協会、(公財)出版文化産業振興財団、(一社)日本電子出版協会、NPO 法人ブックスタート、(一社)日本ペンクラブ、(一社)日本国際児童図書評議会、神保町を元気にする会、神田古書店連盟、日本書店商業組合連合会、神保町ブックフェスティバル実行委員会

協賛(予定) (一社)日本書籍出版協会、キハラ(株)、(株)読書人、(株)図書館流通センター、(株)日本ブッカー 他多数

連絡先

第100回全国図書館大会東京大会組織委員会事務局
〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14 (公社)日本図書館協会内
電話：03-3523-0814 FAX：03-3523-0844

ごあいさつ

第1回の全国図書館大会は、1906（明治39）年、帝国図書館新築落成式にあわせ、東京帝国大学（当時）を会場に、「全国図書館員大会」として開催されました。その後、第2次世界大戦により大会開催が中断した8年間（昭和15年～22年）を除き、毎年全国図書館大会が行われ、今年で第100回大会を迎えるに至りました。

今大会は、日本図書館協会が、今年1月に社団法人から公益社団法人に衣替えして最初の全国図書館大会であり、二重の意味で記念すべき大会になります。

私たちは、この記念碑的大会に、以下のような特色を持たせたいと考え、準備を進めてきました。

- 図書館員や図書館関係者だけでなく、図書館に関心がある市民も大会にお招きし、その様子を多くの市民に見ていただける大会にしたいと思っています。
- 外国から図書館関係者をお招きし、相互に交流し、世界に発信する大会にしたいと思っています。
- 図書館が、地域社会の文化の受け皿となり、人々が交流し、新しいコミュニティーの芽が生まれ、活力ある地域を創り出す役割を果たしていける大会にしたいと思っています。
- 大学、学校、職場、地域で図書館の役割を見つめなおし、それぞれの営みの核となる図書館を展望できるような大会にしたいと思っています。
- 図書館の基本的な使命である読書と情報を、できるだけ多くの方々に提供していく機能を見つめなおし、さまざまな機関、団体と連絡し、市民の方々との連携協力をより確かなものにしなが、図書館の発展を高める大会にしたいと思っています。

以上のような、100回目を迎える全国図書館大会に、多くの市民の皆さまや図書館関係者をご参加くださいますよう強く願っております。

日程

10/31 (金)		受付 12:30～ 13:30	開会式・記念フォーラム 建築賞表彰・図書館支援者への感謝 13:30～17:00		懇親・交流会 17:30～19:00
11/1 (土)	受付	分科会(午前) 9:00～12:30	休憩 12:30～14:00	分科会(午後) 14:00～17:30	日本図書館協会 会員のつどい 17:45～19:30
	展 示 等				

公募型分科会

11月1日の分科会（午前・午後）には、P4～P9の分科会のほか公募型分科会が含まれます。公募型分科会については、[大会ホームページ](#)でご案内いたします。

関連行事（全て無料）

国立国会図書館データベースフォーラム&見学	10月30日（木）・午後
明治大学和泉キャンパス図書館見学会	10月31日（金）・午前
国際こども図書館見学会	11月2日（日）・午前
図書館海援隊フォーラム2014	11月2日（日）・午後
神保町フェスティバルツアー	11月3日（月）・午前
日本図書館協会会員の集い	11月1日（土）夕方

（申込方法等の詳細は大会ホームページでご案内します）

「^{あした}図書館文化を明日の力に」

I **VTR上映** 震災からの再生～新たな記憶を紡ぐ図書館活動

東日本大震災のとき、気仙沼市図書館は、被災した地域の人々に、読書を提供し、情報源、居場所として復興の原動力になりました。そして、今、人々のつながりを創出する拠点としての新たな図書館の道を歩もうとしています。

そんな気仙沼市の大島小学校を舞台に、地元の小学生と読書グループがともに学ぶ朗読活動が、山根基世さんの指導で行われました。その取り組みをドキュメントします。大島出身の児童詩人・水上不二の作品を題材に、大島の歴史と文化に触れ、新たな記憶をつむぎだす活動を紹介します。

II **パネル討議** ～(仮題)言葉を育てる・社会をつなげる・未来を創る～

〈パネリスト〉

やまねもとよ
山根基世 氏



早稲田大学文学部卒後 NHK 入局。主婦や働く女性を対象とした番組、美術番組、旅番組、ニュースなどを担当。女性として初のアナウンス室長。「ことばで『私』を育てる」他、著書多数。

はば よしたか
幅 允孝 氏



BACH (バッハ) 代表。人と本がうまく出会えるよう、様々な場所で本の提案をしている。『本の声を聴け ブックディレクター幅允孝の仕事』(著・高瀬毅/文藝春秋) が刊行中。

まつうらや たろう
松浦弥太郎 氏



暮らしの手帖編集長。エッセイスト。暮らしや仕事における、たのしさや豊かさ、学び、についての執筆、雑誌連載、ラジオ出演、講演会を行う。著書多数。「COW BOOKS」代表。

もり あかね
森 茜 氏 日本図書館協会 理事長



文部省図書館(同省調査課兼務)に就職後、同省研究助成課に異動。以降、約50年の職業人生を大学図書館と学術行政・大学運営に携わる。最近8年間は公益法人の運営に従事。昨年より現職。

〈コーディネーター〉

まちながとしお
町永俊雄 氏



1971年 NHK 入局。キャスターとして、家庭、教育、健康、福祉といった生活にかかわる幅広いテーマを担当。現在は、フリーの福祉ジャーナリストとして活動をしている。

第1分科会 公共図書館 全体会 (午前)

テーマ：本の力 図書館の力

テーマを「本の力 図書館の力」とし、午前は全体会を行い、午後は三つの分散会を開催します。今回の図書館大会は、第100回大会となります。改めて図書館の原点を確認し、これからの図書館の在り方、改革の展望・方策を深めていきたいと思えます。

基調報告：船崎 尚 (元武蔵野市立図書館長)

報告：座間直壯 (白百合女子大学)

第2分科会 公共図書館 第1分散会 (午後)

テーマ：望ましい基準をどう活かすか～図書館の魅力創造する実践報告

事例報告：会津若松市立会津図書館、横浜中央図書館、群馬県立図書館

第3分科会 公共図書館 第2分散会 (午後)

テーマ：読書と図書館・書店

基調講演：成瀬正人 (原書房)

報告：稲泉 連 (ノンフィクション作家)、中嶋信子 (『東京の図書館で働いて』著者)

第4分科会 公共図書館 第3分散会 (午後)

テーマ：市民とつくる図書館

講演：嶋田 学 (瀬戸内市教育委員会 新図書館開設準備室)

講演：鎌倉幸子 (シャンティボランティア会)

第5分科会 大学図書館 (午後)

テーマ：大学の知の発信システムの構築 ～機関リポジトリの更なる発展をめざして～

大学図書館と国立情報学研究所の連携・協力の下に2013年10月「機関リポジトリ推進委員会」が設置され、活動が開始されています。本分科会では、標記テーマのもと、「機関リポジトリ推進委員会の活動」、「JAIRO Cloudの現状と今後」、「既存機関リポジトリからJAIRO Cloudへの移行」、「JAIRO Cloud ユーザ館からの活用事例」等の内容で、議論を深めたいと思えます。

講演：尾城孝一 (国立情報学研究所)

テーマ 「JAIRO Cloudの現状と将来展望」 他

第6分科会 短期大学・高等専門学校図書館 (午前)

テーマ：図書館の現場力を高める

図書館の理念・ビジョンの意義、図書館の現場を考える視角などから、「現場」とは何かを考えます。後半のグループワークでは、一人ひとりの現場の知恵やノウハウを語り合い、図書館の「現場力」を共に高め育み、現場の実践につなぎます。

基調報告：石川敬史 (十文字学園女子大学 21世紀教育創生部講師)

テーマ 「小さな組織で現場力アップ ～小文字で語り合い、知恵を共有する～」

第7分科会 学校図書館 1 (午前)

テーマ：これからの学校図書館と学校図書館専門職員—文科省報告書を中心に—

2013年8月には文部科学省「学校図書館担当職員の役割及びその資質の向上に関する調査研究協力者会議」がスタートし、2014年3月末日、同会議の報告書が公表されました。分科会では、報告書の内容を中心に学校図書館のあり方と学校図書館専門職員の果たす役割を考えます。

報告：内藤敏也 (文科省初等中等教育局児童生徒課課長)

テーマ 「文科省の学校図書館施策について」

基調報告：大串夏身 (昭和女子大学人間社会学部特任教授)

テーマ 「文科省報告書の学校図書館担当職員（いわゆる「学校司書」）について」

報告 1：堀部尚久（横浜市並木中央小学校長）「文科省調査研究協力者会議に参加して」

報告 2：加藤容子（岡山県津山市立北陵中学校学校司書）「(同上)」

第8分科会 学校図書館2 (午後)

テーマ：学校司書の法制化を考える

2014年6月、学校図書館法の一部を改正する法律案が国会で可決成立しました。学校司書の名称が法律に明記されることになりましたが、多くの課題が残っています。この法制化の内容、学校司書への影響、今後のとりくみをどうするか、さまざまな学校図書館関係団体が一堂に会して、話し合います。

報告：森田盛行（(公社)全国学校図書館協議会）、松井正英（学校図書館問題研究会）、水越規容子（学校図書館を考える全国連絡会）、後藤敏恵（岡山県岡山市立高島小学校学校司書）、高橋恵美子（日本図書館協会学校図書館部会）

第9分科会 専門図書館 (午前) (午後)

テーマ：世界の窓となるライブラリー in Japan

東京ドイツ文化センター、日仏会館などの活動を通じ、2014年の日本における海外資料を専門的に扱うライブラリーの活動、海外と日本との情報交流・文化交流を紹介します。

報告 1：吉次基宣（東京ドイツ文化センター）

第10分科会 図書館情報学教育 (午後)

テーマ：世界の図書館情報学教育

国際図書館連盟（IFLA）、アメリカ図書館協会（ALA）、アリゾナ州図書館協会（AzLA）、韓国図書館協会（KLA）など、海外の諸団体から発表者を迎え、それぞれの国・地域の図書館員養成の現状を報告いただいた上で、図書館情報学教育の最新動向や、今日の図書館員に求められるスキル、さらには履修カリキュラムの質的保証、基準の設定といった共通の課題に対する解決方法を探ります。

第11分科会 児童青少年サービス (午前) (午後)

テーマ：読書が培う子どもの未来～児童図書館の力

児童図書館は読書をとおして、子どもの成長を助ける力を持っています。しかし、公立図書館の運営形態を見直そうとする動きの中で、その力が揺らいでいます。今、児童図書館サービスの専門性をどのように確立し、継承、発展させていくのかが問われています。児童図書館サービスのあり方を、基本に立ちかえって考えてみましょう。

基調報告：坂部 豪（日本図書館協会児童青少年委員会委員長）

事例報告：森ゆかり（調布市立図書館）、田中千穂子（国立国会図書館国際子ども図書館）

事例報告：藤田章子（大阪府立中央図書館）、斎藤亜記子（南相馬市立中央図書館）

助 言：松岡享子（東京子ども図書館）

第12分科会 障害者サービス1 (午前)

テーマ：現行著作権法から分かる図書館の役割

著作権法第37条第3項とそのガイドラインで図書館ができるようになったことを学習します。障害者用資料の中心ともいえるDAISYが、最近スマートフォン等の機器で利用できるようになってきていることに注目し、そのデモも含めて発表をしてもらいます。終日会場内で、東京布の絵本連絡会の協力を得て布の絵本の展示会を行います。

基調報告 1：佐藤聖一（埼玉県立久喜図書館、日本図書館協会障害者サービス委員会）

テーマ 「「障害者サービスと著作権法」刊行の意義と図書館の現状」

基調報告2：南 亮一（国立国会図書館関西館）

テーマ 「著作権法第37条第3項とそのガイドラインにより図書館ができること」

基調報告3：若菜洋好（千葉県立中央図書館）

テーマ 「スマートフォン等 DAISY 利用の最新状況」

第13分科会 障害者サービス2 (午後)

テーマ：「障害者の権利に関する条約」が目指すもの

障害者の権利に関する条約が批准され、図書館等の公共施設では障害者への合理的配慮が求められています。権利条約について、河村宏氏を講師に学びます。さらに、図書館における合理的配慮とは具体的にどのようなことであるかを、参加者と共有化したいと思います。

基調報告：佐藤聖一（埼玉県立久喜図書館、日本図書館協会障害者サービス委員会）

講演：河村 宏（日本 DAISY コンソーシアム代表）

テーマ 「障害者の権利に関する条約が日本を変える 「合理的配慮」とは」

パネルディスカッション：障害者の権利に関する条約が日本を変える 「合理的配慮」とは

司会 野口武悟（専修大学）、パネリスト 杉山雅章（日本点字図書館）、中山美由紀（東京学芸大学附属小金井小学校司書）、成松一郎（読書工房）、若菜洋好（千葉県立中央図書館）

第14分科会 図書館の自由 (午前) (午後)

テーマ：「政府言論」論から考える図書館の自由

1980年代に米国憲法学界で提起された「政府言論（government speech）」論から図書館の自由や倫理の論点を考えます。「みんなで考えるネットワーク時代の図書館の自由」では、これまでの図書館の自由分科会の論議や、自由委主催連続セミナーの知見をふまえ、利用者のプライバシー保護の新しいルールや方針に関する共通認識づくりを図ります。

基調報告：図書館の自由この1年

報告：海外の動向—IFLA/FAIFEを中心に / 『はだしのゲン』をめぐる状況

基調講演：蟻川恒正（日本大学法科大学院教授）「政府言論と図書館の自由」

報告と討議：みんなでつくるネットワーク時代の図書館の自由 part2

第15分科会 出版流通 (午前) (午後)

テーマ：電子書籍導入とデジタルアーカイブ化の展開

公共図書館向け電子書籍サービスの展開、デジタルアーカイブの構築、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスの開始、および著作権法上の「出版権」改正の動きなど、いよいよ電子図書館への取組みが重要な課題となって来ました。これまでの理念的な議論や実証実験の取組みから、電子資料を導入して印刷資料とともに提供するハイブリッド型図書館の具体像を提示します。

特別報告：文化庁著作権課「著作権法改正の内容とこれから・電子出版権」（仮題）

基調講演：石田英敬（東京大学総合文化研究科教授 / 附属図書館副館長）

テーマ 「東京大学新図書館計画一紙の本と電子書籍の融合」

発表1：長谷川智信（電子出版制作・流通協議会公共ビジネス部会電子図書館研究会）

テーマ 「公共図書館の電子図書館・電子書籍サービスアンケートを実施して」

発表2：山口 貴（日本電子図書館サービス代表取締役）

テーマ 「日本電子図書館サービス（JDLS）が目指す電子図書館について」

発表3：佐藤達生（図書館流通センター調べる学習推進室長）

「図書館流通センター（TRC）が目指すもの」

発表 4：溝口 敦（メディアドゥ取締役）

「メディアドゥとオーバードライブが融合して目指すもの」

基調報告と問題提起：湯浅俊彦（立命館大学文学部教授）

報告 1：浅野隆夫（札幌市中央図書館）

報告 2：石田智子（大阪市立中央図書館）

第16分科会 図書館を語る (午後)

テーマ：図書館を語る

2013年4月に『ぼくは、図書館がすき：漆原宏写真集』を出版した写真家・漆原宏氏に、図書館について語っていただきます。第二部では、漆原氏と関わりの深い図書館関係者による写真集への感想を通じて、それぞれの図書館への想いを、フロアーも交えた意見の交換も行います。写真約300点のスライド上映を、開会前と休憩時間中に会場内で行います。

基調講演：漆原 宏（図書館写真家）

テーマ 「写真集について：ファインダーを通して見た「図書館」

報告：早川光彦（富士大学教授）、松島 茂（前墨田区立図書館）ほか

「図書館写真の魅力を語る」

第17分科会 資料保存 (午前) (午後)

テーマ：知っておきたいカビ対策のイロハ～図書館現場のIPM～

図書館資料にカビ発見！その時どうするか博物館や美術館では、カビによる被害を防止・防除する手法として、IPM（Integrated Pest Management：総合的有害生物管理）という考え方を取り入れています。図書館におけるIPMやカビの基礎知識を学ぶとともに、カビ被害への実際の対応事例報告、カビの対処方法のワークショップを予定しています。

基調講演1：佐野千絵（東京文化財研究所保存修復科学センター保存科学研究室長）

テーマ 「(仮)カビを中心としたIPMの概要」

基調講演2：高鳥浩介（NPO法人カビ相談センター理事長）

テーマ 「カビの発生メカニズムと健康被害」

事例報告1：眞野節雄（東京都立中央図書館資料保全専門員）

事例報告2：東京大学附属図書館

ワークショップ：イカリ消毒(株) 「(仮)カビの対処方法」

震災特別報告：板橋祐一（富士フィルム(株)）「(仮)写真でつながるプロジェクト」

第18分科会 職員問題 (午前) (午後)

テーマ：非正規雇用職員の今とこれから

公共図書館の非正規雇用職員は総職員数の7割に近づき、他の館種においても過半数を越えています。図書館を発展させていくためには、今後これらの職員をより安定した雇用に切り替わらせて行かなくてはなりません。「ジョブ型（職務限定型）正職員」の考え方や各自治体の公契約条例、日本図書館協会の公契約基準を紹介することによって道筋を探り、共に考えて行きたいと思えます。

基調講演：濱口桂一郎（労働政策研究・研修機構）

テーマ 「ジョブ型（職務限定型）正職員について」

報告 1：岩渕健二（荒川区立荒川図書館）「現場の非正規雇用職員から」

報告 2：松井裕次郎（国立国会図書館国会分館）「公契約条例の現況」

報告 3：小形 亮（日本図書館協会図書館政策企画委員会）「日本図書館協会の公契約基準」

報告 4：佐藤千春（日本図書館協会学校図書館部会）「学校図書館非正規雇用職員の現状」

第19分科会 多文化サービス 午前 午後

テーマ：多様な文化を活かす図書館

日本の図書館が多文化サービスを進めるうえで、IFLA 多文化社会図書館サービス分科会のガイドライン、およびアジア図書館やむすびめの会の活動が果たしてきた役割を振り返り、多様なコミュニティに対応した活動を考える機会にします。

基調報告1：平田泰子（日本図書館協会多文化サービス委員会委員長）

テーマ 「JLA・IFLA 多文化サービス活動報告」

基調報告2：迫田けい子（むすびめの会事務局）

テーマ 「むすびめの会、これまでの歩みと今後の活動」

事例報告1：坂口勝春（アジア図書館）「アジア図書館のこれまでとこれから」

事例報告2：守本 瞬（金沢大学附属図書館）「金沢大学附属図書館の留学生向けサービス」

事例報告3：米田雅朗（新宿区立大久保図書館）「大久保図書館の多文化サービスについて」

第20分科会 認定司書 午後

テーマ：これからの図書館を支える認定司書のチカラ

認定司書4期までに80名を超える認定司書が誕生しています。そこで、5名の認定司書が自館での実践をもとに、地域づくりに貢献する図書館と他機関との連携をめぐる提言や研究成果を発表します。これに加え、今後申請を考えている司書も含め、フロアでの議論により司書力育成の方向性を見出したいと思います。

基調報告：糸賀雅児（日本図書館協会認定司書事業委員会委員長）

発表：河瀬裕子（認定司書第1009号、熊本市立森都心プラザ図書館）、岩永知子（認定司書第1040号、相模原市立図書館）、鈴木 均（認定司書第1047号、浦安市立図書館）、三村敦美（認定司書第1080号、座間市立図書館）、他1名を予定

第21分科会 健康情報 午後

テーマ：ちいさな図書館でもできる健康情報サービス

2013年11月から2014年1月にかけて実施した「公共図書館における健康・医療情報サービスの実施状況の調査」の報告を行う。併せて、健康・保健に関わる部署の行政職員による現在の施策の方針について講演、実践報告、パネルディスカッションを行います。

基調報告：須賀千絵（慶應義塾大学文学部非常勤講師）

テーマ 「「公共図書館における健康・医療情報サービスの実施状況の調査」の報告」

報告：河野好美（浦安市役所）「行政課題としての住民の健康」

事例発表：中島ゆかり（多治見市図書館）、大深めぐみ（塩尻市立図書館）、岩井拓史（土佐清水市立図書館）

第22分科会 図書館と施設 協賛：キハラ株式会社 午前 午後

テーマ：第36回 建築研修会「明日の図書館その建築について考える」

近年の図書館建築の質の向上を支えてきたのが、図書館の意義や機能、そしてサービスの本質を研究し、その成果を建築空間として創造している建築家の存在です。分科会では、最先端の研究者お二人に方向性を示していただいた上で、図書館建築に深く関わり、活躍を続けている建築家5人に、図書館建築の可能性、難しさとおもしろさについて語り合ってください。

講演：吉田右子（筑波大学教授）「図書館先進国にみるこんなサービス、あんな利用法」

講演：中井孝幸（愛知工業大学准教授）「利用者調査にみる、利用者像と利用行動の変化」

座談会：「私の図書館設計作法」 寺田芳朗、鳴海雅人、藤原孝一、益子一彦、柳瀬寛夫

第23分科会 利用教育 (午後)

テーマ：図書館利用教育の実践力—委員会創設 25 周年、次に向けての展望を開く—

1989 年の設置以来、日本図書館協会図書館利用教育委員会は各館種の図書館の利用教育『ガイドライン』、『ハンドブック』、『情報リテラシー教育の実践』、『問いをつくるスパイラル』を刊行し、全国の現場での実践を支援するセミナーを多数開催してきた。講演と各館種からの事例報告、パネルディスカッションにより参加者の皆さんとともに図書館利用教育の到達点と課題を整理し、今後の展望を拓きます。

基調講演：仁上幸治（図書館サービス計画研究所代表）

テーマ 「図書館利用教育はどこまで進化したか？」（仮題）

報告：和田佳代子（昭和大学歯学部歯学教育学部門兼任講師）

テーマ 「図書館利用教育の動向—医学系大学での最先端事例から—」（仮題） 他

事例報告：鈴木恵津子、長澤多代、日向良和 他

第24分科会 市民と図書館 1 (午前)

テーマ：市民と図書館：図書館協議会

公立図書館の民主的運営を担保し、市民と公立図書館をつなぐ図書館協議会の役割が大切になっています。図書館協議会の現状を可能な限り把握し、また活気のある図書館協議会の事例を報告検討し、図書館協議会の役割を再認識する。参加者とのパネルディスカッションを中心に進めます。

報告：内野安彦（前長野県塩尻市立図書館長）、合田美津子（登別市立図書館協議会副代表）、草谷桂子（静岡図書館友の会）、和田安弘（鎌倉市図書館協議会委員）、山口 洋（町田市立図書館協議会委員長）

第25分科会 市民と図書館 2 (午後)

テーマ：市民と図書館：図書館とマスメディア

図書館友の会全国連絡会では、2009 年に「私たちの図書館宣言」（2012 年改訂）を決議し、「知る自由と学ぶ権利を保障する図書館」を掲げました。しかし近年「知る自由と学ぶ権利」を脅かす出来事が引き起こされることも度々あります。メディア関係者、図書館関係者、市民のそれぞれの立場から、市民の求める図書館を守り育てられるのか、図書館をメディアにどの様に伝えていくべきか考えます。

問題提起：福富洋一郎（図書館友の会全国連絡会代表）

報告 1：佐々木央（共同通信社）「見えないところで侵食される知る自由」

報告 2：齊藤大起（神奈川新聞社）「神奈川県立図書館再編問題：取材者の視点」（仮題）

報告 3：手嶋孝典（町田市立さるびあ図書館）「町田市の事例から」

第26分科会 ワークショップ (午前) (午後)

テーマ：『こんなときどうするの?』ワークショップ

改訂された『こんなときどうするの?』と『みんなで考える図書館の地震対策』をテキストに「危機管理マニュアル」をつくるためのワークショップを行います。また、トラブルや危機に悩んでいるあなたのため、お悩み相談を実施します。

報告：「『こんなときどうするの?』ができるまで」

ワークショップ：「危機管理マニュアルを作ろう①②」、「危機管理お悩み相談」

第27分科会 ワークショップ 協賛：有限会社BACH(パッハ) (午前)

テーマ：幅允孝ワークショップ

大会第 1 日目の記念フォーラムに登壇した、幅 允孝（はば よしたか）氏が、ブックディレクターとして本の並べ方の悩みに答えます。あなたの図書館が、見違えるようになるかも。

平成 26 年度 第 100 回全国図書館大会 ＝東京大会 お申込みのご案内＝

1. 各種参加お申込みについて

〈大会参加〉

- 参加費 7,000 円（1 日参加 5,000 円）
- 申込締切 平成 26 年 9 月 30 日（火）
- その他 手話通訳・点字資料・要約筆記を必要とされる方、盲導犬・介助犬・車椅子などでご参加される方につきましては、申込書確認欄の該当箇所にチェックを記入してください。

〈分科会参加〉

本要領 P4～P9 をご参照の上、ご希望の分科会を選択してください。

〈懇親・交流会〉

- 日 時 平成 26 年 10 月 31 日（金）17：30～19：00
- 場 所 明治大学駿河台キャンパス 2F「アカデミーコモン」
- 会 費 6,000 円（食事、飲物付）

〈昼食〉（大会 2 日目／平成 26 年 11 月 1 日）

- 料 金 1,000 円（税込）（お茶付）
- 配布場所 午前中に参加された各分科会会場にて配布させていただきます。
- その他 ご希望の方は、参加登録時にあわせてお申込ください。

2. お申込み・お支払い方法について

お申込み方法は、インターネットで承ります（インターネット環境がない場合は、FAX・郵送でもお申込み頂けますが、出来る限りインターネットからの登録にご協力をお願いします。）

①お申込み

- インターネット申込みは、第 100 回全国図書館大会専用ホームページよりお願いします。

大会申込専用ホームページアドレス <https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/jla-100th/>

- FAX 申込みは、本ご案内書の P12 の申込書に必要事項をご記入のうえ、トップツアー(株)までご送付ください。

②受付及びお支払方法

- 平成 26 年 7 月 4 日（金）より先着順にて受付いたします。
- 参加費と、交流会費・宿泊費・昼食代等（お申込みの方）のお申込み内容をご確認のうえ、記載の期日までにお支払ください。
- お支払い方法は、ネットから申込みの方は、クレジットカード決済又は銀行振込にて、FAX 申込の方は銀行振込のみとなります。（振込手数料はお客様のご負担でお願いいたします。）

お申込み頂いた方には、参加確認書（参加券、分科会参加券、懇親会券、宿泊券、昼食券）をお送りします。

参加確認書の発送は、10 月中旬頃の予定です。

3. 宿泊手配について《募集型企画旅行》

- 宿泊日 前日宿泊：10 月 30 日（木）／当日宿泊：10 月 31 日（金）／後泊宿泊：11 月 1 日（土）
- 旅行代金に含まれているもの 宿泊代金、朝食代、宿泊にともなうサービス料、消費税
- 旅行代金に含まれていないもの 交通費、その他ホテル内での個人的なご利用に伴う諸費用
- 注意事項
 - 添乗員、現地係員の同行しない、個人旅行となります。このご旅行では、約款に定める旅程管理は

行いません。

- 各ホテルは予約確保数に限りがございますので、お申込み状況によっては、締切日以前に満室となる場合がございます。
- 朝食付きでの予約となります。当日朝食を取られなかった場合も、ご返金はいたしません。
- ご旅行条件は、2014年7月1日現在の料金を基準といたします。
- お申込み後、ご予約確認と同時に旅行条件の詳細を記載した《旅行条件書》を送付いたします。

	ホテル名	客室タイプ	ホテル記号	料金(円)	最寄駅	会場までのアクセス
1	東京ドームホテル	ツイン 1名利用	AS	21,500	JR「水道橋駅」 東口より徒歩2分	JR総武線1駅 御茶ノ水駅下車
		ツイン	AT	12,000		
2	お茶の水ホテルジュラク	シングル	BS	12,000	JR「御茶ノ水駅」 聖橋口より徒歩2分	徒歩約10分
		ツイン	BT	10,000		
3	ホテルメトロポリタン エドモント	シングル	CS	15,000	JR「水道橋駅」 西口より徒歩5分	JR総武線1駅 御茶ノ水駅下車
		ツイン	CT	12,000		
4	ホテルヴィラフォンテーヌ 神保町	シングル	DS	12,800	地下鉄「神保町駅」 A5出口より徒歩2分	徒歩約3分
5	ホテルヴィラフォンテーヌ 九段下	シングル	ES	12,800	地下鉄「神保町駅」 A2出口より徒歩3分	徒歩約8分
6	東京グリーンホテル後楽園	シングル	FS	10,000	JR「水道橋駅」 西口より徒歩1分	JR総武線1駅 御茶ノ水駅下車

4. 予約の変更・取消について

■お申込後の変更・取消はインターネット・FAX・郵送にてご連絡ください。

《インターネット》

専用URL(P10に記載)にログインいただき、予約内容の変更・取消が可能です。

《FAX・郵送》

お申し込みいただきました申込書に変更内容・取消を追記いただき、再度FAX又は郵送してください。

■取消のご連絡をいただいた期日により、下記の取消料が発生しますのでご注意ください。

【大会参加の取消】

大会参加のお申込後、10月14日(火)以降に取消した場合は、参加費のご返金はいたしかねますので予めご了承ください。

【宿泊・交流会・昼食の取消】

	14～8日前まで	7～2日前まで	前日	当日	無連絡・開始後
宿泊代	20%	30%	40%	50%	100%
昼食代	無料	30%	100%	100%	100%
交流会代	無料	20%	50%	100%	100%

※取消の際は、申込書面上書きしたものを弊社宛にFAXにてお送りください。

お電話での変更・取消はできませんのでご了承下さい。(取消料は利用日の前日より起算します。)

◆ 旅行企画・実施 ◆ お申込み・お問い合わせは……

観光庁長官登録旅行業第38号 一般社団法人日本旅行業協会正会員・ボンド保証会員



旅行業公正取引
協議会 会員

承認番号：8161

トップツアー株式会社 東京法人西事業部 第3営業部

住所：〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-22-3 渋谷東口ビル 10階

TEL：03-5766-0243 FAX：03-5766-0264

営業時間：月曜～金曜 09:00～18:00 (土曜・日曜・祝祭日は休業)

e-mail：toshokan100@toptour.co.jp

総合旅行業務取扱管理者：酒井 克之 担当：春田/男石/内田

平成26年度 第100回全国図書館大会【東京大会】申込書

FAX: 03-5766-0264

*申込締切日: 9月30日(火)必着

手記のために必要な範囲内での主催者事務局・宿泊機関等への個人情報の提供について同意の上、本大会への参加・宿泊等を申し込みます。

都道府県	フリガナ	〒	〒	TEL
勤務先	住所	※書類送付先になりますので正確にご記入ください		FAX
				E-mail

確認欄 ※ご希望がある場合はチェックをつけてください		<input type="checkbox"/> 手話通訳		<input type="checkbox"/> 要約筆記		<input type="checkbox"/> 盲導犬・介助犬参加		<input type="checkbox"/> 車いす参加		<input type="checkbox"/> 点字		※備考	
フリガナ 参加者氏名	性別	年齢	2日目分科会				2日目 お弁当	ホテル記号	同室者氏名		宿泊		※備考
			1日目大会 全体会	交流会	午前 第一希望	午後 第一希望			第二希望	第二希望	タバコ	10/30(木)	
例 トウキョウ 東京 太郎	男・女	歳	0	1	27	2	20	AS	DS	○	○	○	
1	男・女	歳						要・不要					
2	男・女	歳						要・不要					
3	男・女	歳						要・不要					
4	男・女	歳						要・不要					
5	男・女	歳						要・不要					

通信欄		<input type="checkbox"/> 分科会講師・報告者		<input type="checkbox"/> 実行委員・運営委員	
分科会	午前	午後	分科会	午前	午後
第1分科会 公共図書館 全体会	1		第8分科会 学校図書館 2	15	15
第2分科会 公共図書館 第1分科会		2	第9分科会 専門図書館		16
第3分科会 公共図書館 第2分科会		3	第10分科会 図書館情報学教育		17
第4分科会 公共図書館 第3分科会		4	第11分科会 児童青少年サービス		18
第5分科会 大学図書館		5	第12分科会 障害者サービス 1		19
第6分科会 短期大学・高等専門学校図書館		6	第13分科会 障害者サービス 2		20
第7分科会 学校図書館 1		7	第14分科会 図書館の自由		21
			分科会	午後	午後
			第15分科会 出版流通		22
			第16分科会 図書館を語る		23
			第17分科会 資料保存		24
			第18分科会 職員問題		25
			第19分科会 多文化サービス		26
			第20分科会 認定司書		27
			第21分科会 健康情報		
			分科会	午後	午後
			第22分科会 図書館と施設		22
			第23分科会 利用教育		23
			第24分科会 市民と図書館 1		24
			第25分科会 市民と図書館 2		25
			第26分科会 ワークショップ (1)		26
			第27分科会 ワークショップ (2)		27
			公募型分科会 番号は大会ホームページで案内します。		

【申込書送付先】《旅行企画・実施》
トップツアー(株)東京法人西事業部
 担当: 春田・男石・内田
 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-22-3 渋谷東口ビル 10階
 TEL: 03-5766-0243 FAX: 03-5766-0264
 E-mail: toshokan100@toptour.co.jp
 営業時間: 平日 9:00~18:00 土日・祝休業

※申し込み多数の場合は、ご希望に添えない場合もございますので予めご了承ください。
 ※変更・取消の際は申込書に上書したものをFAXにてお送りください。
 ※当日は、決定分科会以外の他分科会に参加することも可能ですが、配布物の不足や、会場満席で入場できない場合もございますので予めご了承ください。
 ※ホテル客室の基礎ルームには額に限りがございます、喫煙ルームの消臭対応となる場合がございます。

ト ッ プ ツ ア ー 回 答 欄

□ご記入頂いた通りお申込を受付致しました。
 □ホテル満室のため調整後にご連絡させていただきます。
 □誠に恐縮ですが定員に達したためお受け出来ません。

受付日
 変更・
 取消日